

ＣＶ－２２オスプレイの横田基地への配備に対する意見書

日本政府は８月２２日、アメリカ空軍の輸送機ＣＶ－２２オスプレイ５機を本年１０月１日に横田基地に配備する旨、在日アメリカ軍から連絡があったことを発表した。さらに２０２４年頃までに、あわせて１０機の体制にする計画で、今後、段階的に５機を追加するということである。

しかしながら、一時的に立ち寄っているＣＶ－２２オスプレイ５機は、今年の６月以降、現在まで既に長期間留まり、１０月配備とは別に、なし崩し的に飛行訓練が繰り返されているのが現状である。最近では昼夜を問わず独特なエンジン音を響かせ、市内上空で低空飛行を繰り返している。過去の墜落事故やトラブルが脳裏をよぎり、羽村市民からは不安の声が上がっている。今後、正式に配備されることとなれば、この飛行訓練は常態化することが懸念される。

よって、羽村市議会は１０月１日の配備に対し、過去のオスプレイの事故の徹底した原因究明と再発防止策及び安全性の確認を求める。そのうえで、飛行を最小限にとどめること、夜間飛行及び編隊飛行の中止、事前の情報提供、安全対策、飛行騒音等、生活環境への配慮を強く求めるものである。

以上、地方自治法第９９条の規定により、意見書を提出する。

平成３０年９月４日

東京都羽村市議会議長 馳平 耕三

内閣総理大臣

外務大臣

防衛大臣

防衛省北関東防衛局長

防衛省北関東防衛局横田防衛事務所長 あて